



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月30日
上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社
 コード番号 6356 URL <http://www.nippon-gear.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹 TEL 0466-45-2100
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,745	5.7	258	201.8	265	196.5	172	167.0
2020年3月期第2四半期	3,543	12.5	85	—	89	—	64	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	12.11	12.11
2020年3月期第2四半期	4.55	4.54

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	11,241	8,358	74.3	586.94
2020年3月期	11,299	8,177	72.4	574.26

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 8,356百万円 2020年3月期 8,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
2021年3月期	—	2.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	5.6	410	△27.8	410	△29.1	310	△21.7	21.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	14,280,000株	2020年3月期	14,280,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	42,185株	2020年3月期	42,060株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	14,237,909株	2020年3月期2Q	14,189,597株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益の大幅な減少等いまだ厳しい状況が続いております。一方で各種政策支援による個人消費、海外経済の再開による輸出等に持ち直しの動きが見られ始めましたが、先行きは不透明な状況であります。

当社のセグメント別受注状況は、歯車及び歯車装置事業ではバルブ・アクチュエータ、ジャッキ、その他減速機の受注は減少いたしました。歯車事業につきましては、その他産業機械用が増加いたしました。鉄道船舶用が減少したことにより受注は減少いたしました。工事業では鉄鋼向けが増加したものの火力発電所、原子力発電所、石油・ガス、上下水道向けの受注が減少したことにより受注は減少いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間の受注高は37億5百万円(前年同期比11.2%減)、売上高は37億45百万円(前年同期比5.7%増)となりました。一方当第2四半期会計期間末の受注残高は40億64百万円(前事業年度比1.0%減)となりました。

損益面につきましては、売上原価が26億23百万円(前年同期比0.9%増)、販売費及び一般管理費は8億63百万円(前年同期比0.7%増)となり、営業利益は2億58百万円(前年同期比201.8%増)、経常利益は2億65百万円(前年同期比196.5%増)、四半期純利益は1億72百万円(前年同期比167.0%増)となりました。

各セグメントの事業は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業では、バルブ・アクチュエータの受注高は火力発電所、上下水道、石油・ガス、化学向け、補修部品が増加したものの、原子力発電所向けが大きく減少したため、前年同期比6.7%減少いたしました。売上高は、原子力発電所向けが減少したものの、石油・ガス、化学向け設備投資及び上下水道向け緊急遮断ゲートの設置等が増加したことにより、前年同期比3.7%増加いたしました。

ジャッキにつきましては、受注高は火力発電所、鉄鋼、紙・パルプ向けの設備投資が増加したものの、その他汎用品向け需要が大きく減少したことにより、前年同期比20.7%減少いたしました。売上高は鉄鋼、紙・パルプ、自動車向け設備投資が増加したものの、その他汎用品向け需要が大きく減少したことにより前年同期比13.4%減少いたしました。

その他増減速機につきましては、受注高は火力発電所、原子力発電所向けターニング装置用減速機、上下水道向けの攪拌機等が増加したものの、防衛省向け減速機が減少したことにより19.2%減少いたしました。売上高は石油・ガス向け増減速機の案件は減少したものの、化学プラント向け攪拌機、火力発電所向け排煙脱硫装置用攪拌機及びターニング装置用減速機が増加したことにより39.5%増加いたしました。

歯車の受注高は圧縮機械用歯車が増加したものの、自動車用、鉄道船舶用傘歯車が減少したことにより、前年同期比5.4%減少いたしました。売上高は、鉄道船舶用傘歯車や特殊車両用歯車が増加したものの、自動車用、圧縮機械用歯車が減少したことにより前年同期比3.6%減少いたしました。

以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比10.7%減少いたしました。売上高は前年同期比7.4%増加いたしました。

工事業につきましては、受注高は鉄鋼向けが増加したものの、火力発電所、原子力発電所、石油・ガス、上下水道向けが減少したことにより、前年同期比12.9%減少いたしました。売上高は火力発電所、石油・ガス向けのシステム製品が増加したものの、原子力発電所向け大口工事や上下水道向けの点検工事が減少したことにより、前年同期比1.3%減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ56百万円減少し83億2百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億14百万円増加いたしました。売上債権が4億28百万円、たな卸資産が58百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べほぼ横ばいの29億39百万円となりました。これは主に投資有価証券が73百万円、前払年金費用が22百万円増加いたしました。有形固定資産が82百万円、無形固定資産が22百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ1億47百万円減少し20億72百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1億3百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ91百万円減少し8億10百万円となりました。これは主に長期借入金が89百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ1億80百万円増加し83億58百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億29百万円、その他有価証券評価差額金が50百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ4億14百万円増加し30億86百万円(前事業年度末比15.5%増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、6億27百万円(前年同四半期比19.1%増)となりました。これは主に、税引前四半期純利益2億65百万円、減価償却費1億17百万円、売掛債権の減少4億28百万円、たな卸資産の減少58百万円の収入に対し、仕入債務の減少87百万円、法人税等の支払額1億円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、66百万円(前年同四半期は14百万円の収入)となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出35百万円、有形固定資産の取得による支出28百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、1億46百万円(前年同四半期比20.1%減)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出89百万円、リース債務の返済による支出14百万円、配当金の支払額42百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2020年10月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,672,039	3,086,806
受取手形及び売掛金	2,927,691	2,499,112
商品及び製品	189,800	206,400
仕掛品	844,057	831,404
原材料及び貯蔵品	1,631,866	1,569,529
その他	93,801	109,303
流動資産合計	8,359,256	8,302,557
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	732,232	649,446
有形固定資産合計	1,745,523	1,662,737
無形固定資産		
	173,831	151,667
投資その他の資産		
投資有価証券	436,723	510,299
前払年金費用	494,441	516,571
その他	95,307	103,131
貸倒引当金	△5,200	△5,200
投資その他の資産合計	1,021,272	1,124,802
固定資産合計	2,940,627	2,939,207
資産合計	11,299,884	11,241,765
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,245,652	1,142,146
1年内返済予定の長期借入金	179,216	179,216
未払法人税等	121,964	113,406
賞与引当金	223,548	220,974
その他	449,889	417,216
流動負債合計	2,220,270	2,072,960
固定負債		
長期借入金	713,153	623,545
退職給付引当金	4,033	3,342
資産除去債務	166,521	166,606
その他	18,324	17,302
固定負債合計	902,033	810,796
負債合計	3,122,303	2,883,756

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	844,557	844,557
利益剰余金	5,864,506	5,994,247
自己株式	△15,489	△15,524
株主資本合計	8,082,375	8,212,080
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93,933	144,656
評価・換算差額等合計	93,933	144,656
新株予約権	1,271	1,271
純資産合計	8,177,580	8,358,008
負債純資産合計	11,299,884	11,241,765

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,543,925	3,745,361
売上原価	2,601,233	2,623,848
売上総利益	942,691	1,121,513
販売費及び一般管理費	857,070	863,090
営業利益	85,620	258,422
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	10,714	9,479
助成金収入	—	5,850
その他	2,394	1,179
営業外収益合計	13,116	16,515
営業外費用		
支払利息	5,356	4,537
支払手数料	1,516	4,253
その他	2,235	427
営業外費用合計	9,108	9,218
経常利益	89,629	265,719
特別利益		
受取和解金	18,400	—
その他	561	—
特別利益合計	18,961	—
税引前四半期純利益	108,590	265,719
法人税等	43,992	93,265
四半期純利益	64,597	172,454

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	108,590	265,719
減価償却費	133,657	117,799
受取利息及び受取配当金	△10,721	△9,486
支払利息	5,356	4,537
為替差損益 (△は益)	6	6
有形固定資産除却損	0	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	550	△2,574
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,708	△691
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△52,678	△22,129
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△1,070	-
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△3,170	-
売上債権の増減額 (△は増加)	907,887	428,578
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△415,688	58,388
仕入債務の増減額 (△は減少)	24,852	△87,076
未払又は未収消費税等の増減額	21,534	△4,895
その他	△59,650	△24,743
小計	657,748	723,432
利息及び配当金の受取額	10,721	9,486
利息の支払額	△5,432	△4,554
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△135,754	△100,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	527,282	627,882
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,911	△28,517
無形固定資産の取得による支出	△490	△760
投資有価証券の取得による支出	△1,951	△2,007
投資有価証券の売却による収入	50,061	-
敷金及び保証金の差入による支出	-	△35,521
その他	△119	195
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,589	△66,611
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△131,876	△89,608
リース債務の返済による支出	△22,841	△14,041
自己株式の取得による支出	△73	△35
配当金の支払額	△28,490	△42,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,281	△146,497
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	358,584	414,766
現金及び現金同等物の期首残高	2,614,405	2,672,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,972,990	3,086,806

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第2四半期累計期間において、新たな追加情報の発生及び前事業年度の有価証券報告書に記載した情報等についての重要な変更はありません。

(表示方法の変更)

(四半期損益計算書)

前第2四半期累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「支払手数料」は、営業外費用の100分の20を超えたため、当第2四半期累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期累計期間の四半期財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期累計期間の四半期損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた3,752千円は、「支払手数料」1,516千円、「その他」2,235千円として組み替えております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	2,861,420	682,505	3,543,925
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,861,420	682,505	3,543,925
セグメント利益又は損失(△)	109,739	△24,118	85,620

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	3,071,854	673,507	3,745,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	3,071,854	673,507	3,745,361
セグメント利益又は損失(△)	276,893	△18,470	258,422

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。